

# よくあるご質問と回答:

## Arcserve Cloud Direct

### 1 全般

#### Q1. Arcserve Cloud Direct とはなんですか？

Arcserve の管理するデータセンターを利用した Arcserve Business Continuity Cloud（以下 Arcserve クラウド）に、お客様の重要なシステムやデータを直接バックアップするサービスです。  
オンプレミスでデータを喪失したときには、Arcserve クラウドからデータをリストアすることができます。

[Top へ戻る](#)

#### Q2. Arcserve Cloud Direct を利用するメリットはなんですか？

お客様環境へのバックアップサーバの設置やバックアップソフトウェアの購入が不要なので、導入コストを削減できます。また、転送量に対する課金が無く、お客様自身でのバックアップ設備のメンテナンスも不要なため、運用コストも抑えられます。

[Top へ戻る](#)

#### Q3. Arcserve UDP と Arcserve Cloud Direct の違いは何ですか？

Arcserve UDP は LAN 内でバックアップを行なうイメージバックアップソフトウェアです。バックアップ対象と同一拠点内にバックアップデータがあるので、迅速にデータを復旧することができます。一方、Arcserve Cloud Direct はバックアップサーバの導入が不要なサービスなので、システム管理者が存在しない支店・事務所の PC/サーバを手軽にバックアップしたいという要件に向いています。

なお、Arcserve Cloud Direct を使用するために Arcserve UDP を購入する必要はありません。

[Top へ戻る](#)

#### Q4. 管理はどのように行いますか？

Arcserve クラウド上のコンソール（以下 Cloud Console）に Web ブラウザでアクセスします。Cloud Console では、管理者ユーザーの登録作業やアクティベーション、バックアップ設定、リストア、ログの確認などの管理ができます。

[Top へ戻る](#)

#### Q5. クラウドサービスの規約やサービス レベル基準の情報はありますか？

以下をご参照ください。

<https://www.arcserve.com/jp/cloud-services/>

[Top へ戻る](#)



**Q6. Arcserve Cloud Direct のデータセンターはどこにありますか？**

東日本リージョンは東京、北米西海岸リージョンはアメリカ合衆国カリフォルニア州サンタクララにあります。高いセキュリティと信頼性を持つ Tier IV相当（一部 Tier III相当）のデータセンターを利用しています。

[Top へ戻る](#)**Q7. トライアル（試用）はできますか？**

無償で 15 日間 のトライアルが可能です。ご利用いただける容量は 1TB までとなります。

<https://www.arcserve.com/jp/cloud-direct-free-trial/>

詳しくは担当営業又は Arcserve ジャパン・ダイレクトへご連絡ください。

[Top へ戻る](#)**Q8. トライアル（試用）から実運用環境に移行できますか？**

トライアルアカウントでログオンし、ライセンスを有効化していただくことで、そのまま実運用環境に移行可能です。ただし、トライアルが終了した後でライセンスを有効化せずに 30 日が経過すると、クラウド上のボリュームが削除され、以後はそのトライアルアカウントで実運用環境への移行はできなくなります。クラウドボリュームの再作成もできません。

そのため、トライアル環境を実運用環境へ移行するには、お早目にサブスクリプション ライセンスをご注文ください。遅くとも、データの削除予定日の 5 営業日前までに Arcserve へ注文が届くように手配ください。目安として 2 週間前までに販売店へのご発注をお願いいたします。

[Top へ戻る](#)**Q9. バックアップ・リストアの速度はどれ位出るでしょうか？**

バックアップ・リストアの速度はお客様の環境やデータの種類によって異なります。お客様の環境でトライアルにてご確認いただくことをお勧めします。

[Top へ戻る](#)**Q10. Arcserve Cloud Direct にバックアップ データを外付け HDD などの物理媒体で搬送することはできますか？**

**また、Arcserve クラウド内のバックアップ データを物理的に受け取ることは可能でしょうか？**

申し訳ございませんが、Arcserve Cloud Direct でそのようなオプション サービスはございません。

[Top へ戻る](#)

## 2 バックアップ

### Q11. 定期的なフル バックアップの取り直しは必要ですか？

不要です。フルバックアップは初回のみで、2回目以降は増分バックアップのみが行なわれます。

[Top へ戻る](#)

### Q12. データの圧縮は行われますか？

はい、バックアップデータの転送時には圧縮がかかるため、回線への負荷を軽減できます。ただし、クラウドボリュームの使用量は、圧縮前のデータサイズでカウントされます。

[Top へ戻る](#)

### Q13. 世代管理はできますか？

可能です。バックアップ先の「ボリューム」にバックアップデータを保存する期間を指定する事で、複数世代のバックアップデータを保持できます。指定期間を超過したバックアップデータは自動的に削除されます。

[Top へ戻る](#)

### Q14. バックアップの対象は何ですか？

Windows サーバ、Linux サーバ、Windows クライアント PC、また Microsoft SQL Server のオンラインバックアップ、CIFS 共有フォルダのバックアップに対応します。バックアップエージェントを導入してバックアップを行います。また、VMware/Hyper-V 仮想マシンのエージェントレス バックアップが可能です。

[Top へ戻る](#)

### Q15. VMware/Hyper-V 仮想マシンのエージェントレス バックアップはどのように行いますか？

VMware 仮想マシンをエージェントレスでバックアップするためには、バックアッププロキシの役割となる「VMware アプライアンス」を Cloud Console からダウンロードし、お客様の仮想環境にデプロイしていただきます。設定の際には vCenter 環境が必要となります。

Hyper-V ではアプライアンスは不要です。仮想ホストに Arcserve Cloud Direct のエージェントをインストールします。

詳細は「Arcserve Cloud Direct スタートアップ ガイド【仮想エージェントレス編】」をご参照ください。

<https://www.arcserve.com/wp-content/uploads/2019/09/ucd-startup-guide-agentless.pdf>

[Top へ戻る](#)

### Q16. バックアップ サイズに制限はありますか？

システム上の制限はありませんが、パフォーマンスの観点から1つのクラウドボリューム当たり 20TB 程度までのバックアップを推奨します。20TB を超える場合は、ボリュームを複数作成してください。なお、1アカウントでのバックアップ先クラウドボリュームは最大5つまでです。

[Top へ戻る](#)



**Q17. 特定フォルダのみのバックアップは可能ですか？**

Arcserve Cloud Direct のエージェントを使用したバックアップに限り、ファイル/フォルダ単位のバックアップが行なえます。また、特定のフォルダ/ファイルを除外する事もできます。

仮想マシンのエージェントレスバックアップでは仮想マシン全体がバックアップされます。

[Top へ戻る](#)**Q18. ディスク全体バックアップのサイズはどうなりますか？**

初回のバックアップ時の未使用領域を含めたディスク全体に対して読み込み処理が行われるので、その分の時間がかかることにご注意ください。例えば、100 GB 容量のバックアップ対象ディスクに 30 GB のデータが格納されている場合、初回のバックアップでは 100 GB 分に対して読み込みが行われます。ただし、Arcserve Cloud Direct ストレージには、30 GB 分のバックアップが保存されます。

[Top へ戻る](#)**Q19. バックアップ中に回線断が起きたときのリトライは行われますか？**

32 秒後に再試行を行い、NG の場合は 64 秒後、次は 128 秒後と間隔を拡げながら（MAX512 秒）、14 回まで再実行します（約 90 分間）。最終的に接続が復旧しない場合、ジョブは失敗します。

[Top へ戻る](#)**Q20. 暗号化は行われますか？**

送信中のデータは SSL 暗号化により保護されます。また、Arcserve クラウド上には AES で暗号化された状態で保存されます。

[Top へ戻る](#)

### 3 リストア

**Q21. 個別のファイル/フォルダのリストアはできますか？**

はい、可能です。

[Top へ戻る](#)**Q22. システムを復旧する事は可能ですか？**

いいえ、Arcserve Cloud Direct では OS の復旧はサポートされません。

「Windows イメージ」バックアップで取得したデータは「img」、「vhdx」拡張子のイメージファイルとしてリストアできます。「img」拡張子でリストアしたファイルは、外部ツールを使ってマウントし、ファイル単位リストアに利用いただけます。「vhdx」拡張子でリストアしたファイルは、Hyper-V 仮想マシンへアタッチしてデータボリュームとして利用するか、エクスプローラーにマウントしてファイル単位リストアに利用いただけます。

VMware 仮想環境からエージェントレスでバックアップしたデータは、「vCenter に復旧」機能で VMware 仮想ディスクとしてリストアし、VMware 仮想マシンにアタッチしてデータボリュームとして利用いただけます。

[Top へ戻る](#)

## 4 購入方法

### Q23. 料金体系について教えてください。

Arcserve Cloud Direct は年間サブスクリプション方式です。必要なストレージ リソース分のサブスクリプションを購入することで、1 年間サービスを利用できます。

[Top へ戻る](#)

### Q24. サブスクリプションの更新やリソースの追加はできますか？

はい、サブスクリプションの更新やリソースの追加は可能です。更新/追加分のサブスクリプションを購入する際に、更新元/追加先のサブスクリプション契約の Order ID をお知らせください

[Top へ戻る](#)

### Q25. リソース追加の際に、サブスクリプションの終了日を元契約と揃えることは出来ますか？

はい可能です。契約更改がシンプルになるので、終了日をそろえることをお勧めしています。個別でのご対応になるので、販売店経由で購入前にご相談ください。

[Top へ戻る](#)

### Q26. 課金対象になる現在のストレージの使用量はどこで確認できますか？

Cloud Console にログオンしたときに表示される「モニタ」画面上部、「使用状況のサマリ」に表示されます。

[Top へ戻る](#)

### Q27. 契約した容量を超えてバックアップを行なった場合はどうなりますか？

契約容量を超過してから 30 日を過ぎるとバックアップおよびリストアが行えなくなります。ストレージの使用量が契約容量の 85% を超過すると、コンソール画面とメールにてアラートが発行されるので、速やかにストレージのサブスクリプションを追加購入して下さい。

[Top へ戻る](#)

### Q28. サブスクリプション期間終了後、サブスクリプションの再開は出来ますか？

いいえ、サブスクリプションの再開は出来ません。また、サブスクリプション期間終了後にお客様のバックアップデータの削除が行なわれます。継続利用を希望される場合は、サブスクリプションが終了する前に契約更新の手続きをお願いいたします。

[Top へ戻る](#)

### Q29. サブスクリプションはいつまでに更新すればよいですか？

サービスの継続利用を希望される場合は、サブスクリプション期間が終了するまでに継続のオーダーID の登録が必要です。従いまして、サブスクリプション終了日の 5 営業日前までに Arcserve へ継続の注文が届くように手配ください。目安として 2 週間前までに販売店へのご発注をお願いいたします。

[Top へ戻る](#)



**Q30. サブスクリプション期限が切れる前に Arcserve から通知はありますか？**

はい、サブスクリプション期限の 3 ヶ月前と 1 か月前に電子メールでお知らせいたします。通知先のメール アドレスはサブスクリプションの購入時に登録いただいたアドレスです。担当変更などでメール アドレスが変わった場合は、[Web フォーム](#)にて登録情報を変更してください。

また、Cloud Console に登録いただいた管理者アカウントにも、サブスクリプション期限の 30 日前から毎日電子メールでのアラートが送信されます。

[Top へ戻る](#)